

“おカイコさん”を子どもたちに伝えたい 「ふる郷を育てる会」の皆さんの養蚕活動

「少し昔まで、このまちの産業を支えていた“おカイコさん”を子どもたちに伝えたい」。市民有志でつくる「ふる郷を育てる会」(菅野隆志会長)では、この思いを胸に、5月から壽丸屋敷で養蚕を開始しました。市内では明治時代から昭和50年代まで養蚕が盛んに行われ、まちの産業経済を支えていた経緯があります。

6月18日には、白石第一小学校の2年生40名ほどが屋敷を訪問。糸を吐き始めたカイコを目にして、驚きの表情を浮かべながら、プレゼントされたまゆ玉を手に取り、生き物が作り出す不思議を体験していました。



▲命の不思議に、驚きと感動の表情を浮かべる子どもたち

仙南地域の料理職人が「うーめん」を題材に味比べ 第1回仙南料理対決「伊達な白石・うーめん合戦！」



▲料理人の意地がぶつかり合った屋敷内

6月23日、壽丸屋敷で第1回仙南料理対決「伊達な白石・うーめん合戦！」が開催されました。この催しは、仙台・宮城デスティネーションキャンペーンを目前にして、白石の特産「うーめん」の料理方法を研究しようと、仙南地域の有志でつくる「蔵王楽友会」(大沼俊臣代表)が主催。料理対決には、本市のほか、蔵王町や大河原町、柴田町、川崎町から9名の料理人が参加し、工夫を凝らしたうーめん料理が次々に登場して一般参加の審査員を沸かせました。厳正な審査の末、柴田町のサンシャイン青葉の中村さんが最優秀賞を獲得しました。

元気に100歳を迎えました 一條 はついさんに祝詞と松竹梅敬老祝金を贈呈



▲家族思いのはついさんを全員で祝福!

6月29日に満100歳の誕生日を迎えた一條 はついさん(大鷹沢三沢)のもとを風間市長が訪ね、祝詞と松竹梅敬老祝金を贈り、ご長寿を祝福しました。

はついさんは三沢生まれの三沢育ち。養蚕を営んでいた家業と子育てに、奮闘の日々を送られました。現在は車いす生活ですが、日中は大好きな水戸黄門などの時代劇を楽しむなど、穏やかな日々をお過ごしです。現在も裁縫などご自分でされるというはついさん。ご家族から「100歳は通過点。これからは元気に長生きしてほしいです」というエールが送られていました。

感動体験で子どもたちのやる気を育てよう! 子ども育成フォーラムin白石

6月14日、中央公民館で(社)宮城県子ども会育成会連合会が主催する「子ども育成フォーラムin白石」が開催されました。今回のフォーラムは、感動の機会づくりとして、仙台市の泉おはなし会の代表・小野律子さんによる民話の語りや紙芝居が行われました。

また、午後からは、本市の子ども会育成会連合会が毎年行っている「遊びの達人養成講座」の経験を生かした炭火を使ったパン作りや、名人が作る竹とんぼ作りなどの体験コーナーが設けられ、250人を超える親子が思い思いの体験コーナーを楽しんでいました。



▲パン作りではマシュマロ焼きも大人気!

人と蛍の共存を目指して 尾籠地区でホタルまつりを開催

6月28日・29日の2日間、福岡蔵本の尾籠地区で「白石薬師堂ホタルの里を守る会」(半澤勇三郎会長)と薬師の湯ひまわりセンター共催の「ホタルまつり」が開催されました。開会式会場の薬師の湯には、蛍の光を一目見ようと市内外からたくさんの人が集まり、よさこい走乱白石城の皆さんによる踊りや、「福岡和の会」の皆さんによる南米民俗楽器の演奏を楽しみました。

昨年以上にたくさんの蛍が飛んでいるとのことで、半澤会長は「これからは蛍がこの地域に戻るよう、頑張っていきたいです」と話していました。



▲よさこい走乱白石城の皆さんによる踊りを楽しむ来場者

シニア世代のサッカーマンが白石に集結! 第3回白石サッカー協会会長杯(白石シニアカップ)



▲伸び伸びとプレーする選手たち(決勝:北陵エルダース VS PAPAS仙台)

6月28日、白石川サッカー公園で第3回白石サッカー協会会長杯(白石シニアカップ)が開催されました。この大会は、サッカーを生涯スポーツとして楽しむとともに、シニア世代の交流を図ろうと、白石サッカー協会(佐藤浩会長)の主催で毎年開催されているものです。

大会には、地元白石をはじめ、仙台市や利府町などから、40歳以上でつくる6チームが出場。炎天下の中、グラウンドを全力で疾走するなど、精いっぱいプレーを見せていました。熱戦の結果、仙台二高OBなどの皆さんでつくる北陵エルダース(仙台市)が優勝しました。

立ち上がる白石の若者たち マンスリーライブ2008“白い町のメロディ”



▲コンサートで熱唱を披露する我妻睦さん

6月14日、すまいるひろばと壽丸屋敷を舞台に、コンサート(広場内)と、切り絵や写真、絵画などの展示(屋敷内)を組み合わせたイベント「マンスリーライブ2008“白い町のメロディ”」が開催されました。本年3回目となるこの催しを開催したのは、市内の若手有志でつくるS.A.P(白石アーティストプロジェクト)の皆さん。「まちのために、若者も頑張っていることを知ってほしい」と始められたものです。屋敷内に展示された作品はどれも力作ぞろい。8月は9日(土)の18時からコンサートを開催する予定ですので、ぜひ会場に足をお運びください。

世代を超えて真剣勝負! 第6回市民シャフルボード大会

5月15日、中央公民館を会場に「第6回市民シャフルボード大会」が開催されました。

シャフルボードは、キューと呼ばれる細長い棒を使って得点エリアへ円盤を押し出し、その合計得点を競う競技で、子どもからお年寄りまで気軽に楽しめるニュースポーツとして人気があります。

今回の大会には16チームが参加して試合開始!小学生と大人に別れ予選を行い、決勝リーグでは世代を超えた熱戦が繰り広げられました。優勝は小学生ペアの小関・高橋組、準優勝も小学生ペアの吉崎・山田組でした。



▲楽しみながらもプレーは真剣です!